

理  
窓

## 理窓教育会報

第35号

平成22年4月1日

東京理科大学理窓教育会

事務局 東京理科大学理窓会館4階

## 巻頭言 『素朴な疑問と公教育』

理窓教育会 会長 (33K)酒井 洋

今年の1月ある新年会で、地元選出の民主党の女性若手都議会議員と隣り合わせとなった。その席で、公立高等学校の授業料の無償化の背景と、公立高等学校の授業料の無償化の前に『日本国憲法第26条〔教育を受ける権利、教育の義務〕①すべての国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて教育を受ける権利を有する。②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。』にあるように私立の小学校、中学校の授業料を無償化の方が先ではないか。とお尋ねしたところ、いずれも答えられないとの返答であった。

私立学校は、国公立と経営母体は異なりますが、少なくとも、国公立とも公教育を行っていることは間違いありません。

ここで公教育について、国民として、共通の理解が必要であるので若干触れてみる。

公教育とは、一般庶民・国民の教育であり、国や地方公共団体が経営する国公立学校だけが公教育を有するわけではない。したがって国立や公立か私立かではなく、公共財としての教育か私的財としての教育かということである。役割が公的かということだけでなく、対象者が誰なのかで判断すべきである。

一般的に私立学校は、特定の人々の個人的需要に応えることにより多くの力を注いできているように思われる。公立学校の使命が学校教育の主要な便益として国民の統合や教育の機会均等であり、私立学校は社会的特

権を付与することや、社会的な不平等感を招くと考えるならば、私立学校は否定的にみられるであろう。しかし、その反面で、国民は学校教育に対して多様な要望をもっているとするれば、選択を可能にする私学はむしろ社会的にも積極的な価値を持っていると言える。

また、私立学校の存在は、公教育費の節減に貢献している。そのうえ学校教育全体の多様化が革新の源泉となり、さらに競争を通じて学校教育全体の活性化を増進させるという点で社会的に有益である。

私学教育の社会的メリットは、やはり民主主義社会の基本的な権利である親の教育選択権を自主的に保障するだけでなく、多様な教育を供給し、競争によって教育の質的向上を可能にすることである。

また、国公立学校を設置する場合は、国の定めた設置基準がある。公共機関としての恒久的維持能力が要請される。たとえば多少の例外措置はあるが、小学校・中学校・高等学校については、学校教育法第3条の規定に基づき総則、編制、施設および設備、附則がある。高等学校については学科が加わる。

その内容は、一学級の生徒数、学級の編成、教諭の数など、校舎および運動場の面積など、校舎に備えるべき施設、その他の設備、校具および教具なのである。このほかに収支予算書など一連の資産関係書類の提出が求められる。従って公教育とは国民のための教育である。

(東京女子学院中学高等学校長)

# 支 部 報 告

## 岩手支部総会報告

支部長 (42S)石川 明彦

本年度の理窓教育会岩手支部総会は平成21年11月21日(土)10時、ホテルエース盛岡(盛岡市中央通2-11-35)で開催致しました。

本年は例年通りの決算報告等の前に役員改選が行われ、下記のように新役員が承認されました。

支部長 菅原 通、副支部長 伊藤正博、百々正博、江本理恵、幹事 千葉 仁、互野恭治、菅原 徹、眞岩一夫、事務局長 江本理恵(兼任)

なお任期は平成22年4月1日より平成25年3月31日迄。

議事のあと情報交換会では、1)株式会社興和電設 工藤 幸一氏「グループウェアの歴史と現実について」

自社、業界内、特に岩手県内の高等学校等で使われているサイボウズを重点にグループウェアの目的と、実際の現状を、構築・運用更に援助支援側の視点からの苦労話を丁寧に語って頂きました。

もう1件 2) 岩手大学 江本理恵氏「フランスの大学事情」を準備しておりましたが、時間的な制約で次年度にお話して頂くことにし、本年の会を終えました。

## 秋田支部総会報告

支部長 (45S)佐藤 幹彦

特別企画～長野東先生の講演と本学出身の歌手 布井祥子さんのミニコンサート～

平成21年度の総会を、理窓会秋田支部と共催で、10月24日(土)午後1時から秋田市のイヤタカで開催しました。会員の出席は22名でした。大学から村田雄司常務理事、理窓会から池北雅彦常任幹事、こう

よう会から鎌田直喜秋田支部長を来賓としてお迎えし、理窓会秋田支部総会に引き続いての理窓教育会秋田支部総会でした。

理窓教育会秋田支部は、平成12年度から予算ゼロで運営?しています。すべて理窓会秋田支部におんぶして事業は共催の形です。これではいけないと思いながら2期目に入りました。今年度は、せめてもの罪滅ぼしと思い『東京理科大学理窓教育会秋田支部会報～第1号』を発行しました。現状と課題などをA4版表裏にカラー印刷しての大奮発?発奮?です。この会報がきっかけとなって、少しでも本会が活性化し、総会の出席者が増えてくれればとてもうれしいのですが…。総会の後『東京理科大学と理窓会の現状について』と題して村田、池北両先生からご講話をいただきました。

また、午後3時からの特別イベントの部では、長野東先生の講演と布井祥子さんのミニコンサートを開催しました。長野東先生は、本学数学研究所共同研究員として「予測のための中等数学」の作成に尽力され、その思いの丈を、熱く語られました。布井祥子さんは本学理学部数学科を卒業後97年9月にキングレコードより“帰ろかな大阪”でソロデビューシングルリリースしたプロ歌手であります。「帰ろかな大阪」「時をこえて」「夢に負けないで」などのオリジナル曲のほか、たくさんのすばらしい歌声を披露してくださいました。忙しいさなかに遠く秋田までおいでくださいましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。その後の懇親会が大いに盛り上がったのはいうまでもありません。母校並びに、本会のさらなる発展とご来秋いただきました皆様の益々のご活躍をお祈りし報告といたします。

## 群馬支部総会報告

支部長 (49OS)奈良 正幸

理窓会群馬支部総会は平成21年11月28日(土)16:00から「ウェルシティー前橋(群馬厚生年金会館)」で行われた。

群馬支部総会では、田村功理窓会群馬支部長の挨拶のあと、理窓会常任幹事山下正様より理窓会の現況や過日実施されたホームカミングデー2009の様子を伺い、東京理科大学常務理事渡辺恒夫様から125周年記念事業や大学改革についての説明を伺った。議事では、長年にわたり群馬支部長として尽力された田村功氏(S38・理・化学)に代わって、新支部長として深澤知明氏(S49・理・応物)を選出した。また、奈良正幸教育会群馬支部長より教育会についての報告を伺った。

出席者は18名で教育関係の現職・OBの方々や民間企業の方々も加わり、懇親会では出席者一人一人の現況を報告した。大学在学中の思い出や卒業後の経歴、趣味や健康、企業での取り組みや教育現場の状況など話題は豊富でなごやかな会となった。今後、実業界と教育界がお互いに協力しあって来年度はさらに参加者を増やし、この会がますます盛んになることを願い盛会の内に終了した。

## 茨城支部総会報告

支部長 (46B) 小林 康則

平成21年度の理窓教育会茨城支部総会は、11月29日(日)11:00からJR水戸駅近くの茨城県立県民文化センターで行われた。

総会には12名の出席があり、議題の会則審議、役員選出、会計報告に続き、 Grillでの会食後、茨城県教育庁高校教育課生徒指導推進班長大和田俊一から「理数教育と生徒指導」、元常総学院高等学校教頭小林康則から「テスト結果の評価・分析・指導法の提案」の発表があり15:00ごろ和やかな雰囲気の中終了した。

例年懸案となるのは会の会計状況で、毎年1万5千円前後の支出超過となっており、あと1~2年で基金が底をつく。特に約300名の会員全員への案内はがきの郵送代が大きいのが、案内の範囲を縮小することに対しては教育会の同人化(好きな人だけが勝手

にやっている個人サークル化)につながるのではないかという懸念の声もあり、結論は出なかった。また本来、総会費用は総会参加者の負担ではないはずだが、現況ではやむをえず徴収し、さらに残額の寄付(500円ぐらい)までお願いしている次第である。本学創立時に倣う訳ではないが、堂々と有志者から寄付を受けるのも悪くないと私個人では思っているが、他県の運営のしかたも参考にしたい。

平成21年夏に、本県の大子町に東京理科大学大子研修センターが開設されたので、そこでの総会を検討したが、場所が遠く日も短い(時期的に)との理由から今年度は見送った。次年度には夏季に利用したいと考えている。現在の利用規約では維持会員主体だがいろいろ配慮していただき感謝している。さらに理窓会員全員が手軽に活用できるようになるとありがたい。

## 埼玉支部総会報告

支部長 (55 修K) 金子 和人

埼玉支部総会は、理窓教育会会長酒井淳先生をお迎えし、参加者28名で平成21年12月5日(土)に行われました。会場は、恒例となっている大宮国体記念会館で、総会においては、埼玉支部会長挨拶、酒井会長挨拶を頂いた後、役員改選、平成21年度事業計画及び会計報告、平成22年度事業計画及び予算案等が提案され承認されました。事業計画では、参加者の増加に向けた工夫や理窓会埼玉支部総会への出席等が話し合われました。総会後は、岩佐教育研究所所長の岩佐桂一先生より「埼玉県における県公立高校入試改革と中学生への影響」について、講演を頂きました。埼玉県における22年度入試は昨年までの入試と大きく変わります。(前期募集25%→75%、後期募集75%→25%、5教科200点→500点)中学生も保護者も中学校側も戸惑っています。私立との関係を踏まえわかりやすく解説いただきました。高校側として今後の中学校側への説明の方向性や、保護者や中学

生の戸惑いや不安の内容がわかり、これからの高校としての、入試への対応の仕方等沢山の内容を教育現場に持ち帰ることの出来た参加者が多くいたものと確信しております。

講演会後の懇親会では、各参加者の自己紹介や近況報告、各学校の現状や理数教育の在り方、高校の授業料の無償化について等の情報交換もあり有意義な会となりました。特に円陣を組んでの理科大学歌合唱は、同窓・同志の一体感の醸成となり、参加教員相互の連帯強化となりました。時のたつのも忘れて進行した会も母校の益々の発展と次回の総会での再開を確認し、盛況のうちに閉会となりました。

最後に、本支部の課題として、会員数の確保と理数科教員としての教育力向上のための研修会・講演会の実施が挙げられます。若手教員を支援できる活力のある支部活動であるよう、私立高校の同窓生も含め、各学校で活躍している同窓生の掘り起こしを行い、魅力ある活動を創成していくことが急務と考えています。他の支部との情報交換を進め、求められる支部活動を築けることを願って、支部報告とさせていただきます。

## 東京支部総会報告

支部長 (49専S) 廣瀬 和昭

平成21年度の東京理科大学理窓教育会東京支部定期総会は5月24日(日)午前11時30分より、1号館3階133教室で行われた。昨年度と同様に今年度も理窓会東京支部総会が開催される同日に本会総会を開催することにした。近年、教職に就いている方々は業務が多忙になり、管理職は平日や夜に総会を開く時間がとれないようになってきた。そのため、理窓会東京支部と共催して開催する日程にした。

総会は竹村精治高校部会部長の司会で始まった。酒井洋理窓教育会会長が挨拶された。東京理科大学は今、神楽坂校舎の新構想において難題を抱えている。神楽坂の地

を起点に、125年の歴史を刻み、多くの方々の知恵と努力を結集して様々な苦難を乗り越えて今日まで発展してきた。我々同窓生も大学の発展のために真剣に立ち向かっていかなければいけないと述べられた。報告および議事に入り、運営委員会の各部会や各委員会から平成20年度活動報告があった。特に坂本功指導委員会委員長より教員志望の学生の現状説明があり、また全国組織の状況などの報告があった。平成21年度の活動方針案の発表に引き続き、平成21・22年度役員の確認を行い総会で承認された。すでに運営委員会において、審議している原案が承認された。會田理事・小野理事より11月1日(日)に実施予定の「第4回ホームカミングデー」には多くの会員が結集するように、呼びかけがあった。

本会総会終了後、理窓会東京支部総会と合流し、東短リサーチ(株)取締役チーフエコノミスト加藤 出氏の「世界的金融危機の行方と日本経済」と題する講演を聴いた。加藤氏はテレビや新聞、雑誌などエコノミストとして広く活躍されている。教育界も視野を広く持って世間の潮流に遅れないようにしなければならないと痛感した。有意義な総会であった。

## 千葉支部総会報告

支部長 (40S) 水野 澄

総会は平成21年8月23日(日)13時から千葉市ポートプラザちばで行われ参加者は59名だった。

理窓会および理科大学から、児島紘・理窓会幹事長、澤芳昭・理科大常務理事、森野義男・理科大維持会長、酒井洋・東京支部長、栗原義昭・神奈川支部長、青木秀夫・埼玉支部長、並木榮一・理窓会常任幹事をお迎えし、今年も、教職員部会総会に続き、千葉支部総会という形式で開催されました。

### 【教職員部会総会】

出された議案はすべて承認され、杉浦雅美会長(匝瑳高校長 49OK)に替わり眞田

孝則新会長（検見川高校長 50K）が就任しました。

### 【千葉支部総会】

挨拶の中で、澤常務理事からは、神楽坂キャンパスの再構築や金町キャンパスの構想について、森野維持会長からは、「維持会・創立125周年記念募金」についてのお話をそれぞれ伺うことができました。また、議事の中で、増田重衛支部長（36B）に替わり水野澄新支部長（40S）が就任しました。

### 【記念講演会】

今年は、理科大学理工学部情報科学科教授・戸川美郎先生を講師にお招きし、「数学オリンピックと、いわゆる『才能』」という演題で約90分のご講演をいただきました。国際数学オリンピックの現状と日本の実力や才能については、教育水準や国力とはあまり関係がない。才能は生まれながらのものではなく、フェルマーほどの天才でも後天的であること。才能を発掘するためには必要なことは、面白い問題にぶつかること、センスのある問題にふれること。また、先生ご自身の経験からも、「さりげないセンスのある良い話を高校の先生から教わるのが大切なのではないか？」というお話が大変心を打たれる内容でした。

### 【懇親会】

来賓を代表して、児島紘理窓会幹事長からご挨拶をいただき、終始和やかな雰囲気では進みました。最後は参加者全員で円陣を組み、校歌で締め括り、同窓の絆がさらに深まる有意義な時間となりました。

## 神奈川支部総会報告

支部長（41B）鈴木 宏司

理窓教育会神奈川支部総会は、理窓会神奈川支部定期総会と兼ねて行うのが恒例になっています。平成21年度支部定期総会は川崎地区が担当して、平成21年7月4日（土）、川崎グランドホテルにて開催し、参加者は来賓の方を含めて74名という盛会となりました。

総会は幡野東京理科大学理事、森野維持会会長からのご挨拶があった後、議事に入り、20年度事業報告、収支決算報告、そして21年度事業計画案、収支予算案が滞りなく承認されました。

議事終了後、国際浮世絵学会常任理事・新藤茂氏による「浮世絵と数学」という題目の講演会を開催致しました。江戸時代の数遊びや浮世絵遊びの原理を合同などの数学を用いて解明され、とても面白い内容で、皆、真剣に聞き入り、大変充実した意義ある講演会であったと思います。

続いて急逝された故西村和夫氏のご冥福をお祈りして全員で黙祷を捧げた後、懇親会へと移りました。

児島幹事長より理窓会の近況等についてお話をいただいた後、懇談に入り、途中、来賓の並木常任幹事・吉田こうよう会神奈川支部長よりご挨拶をいただきながら楽しく和やか懇親会を過ごしました。最後にこれも恒例になっている校歌を全員で斉唱し、お互い再会を約しながらの解散となりました。

以上ですが、いつもこの報告に併せて記述している本学出身の神奈川県立高校管理職の集まりである「神楽会」は今年も2回、「海の日」と「成人の日」に会を開催し、順調に推移しておりますが、さらに一層の発展に努めたいと思っております。

## 山梨支部総会報告

事務局（53B）橘田 多喜夫

山梨支部総会は、毎年理窓会山梨支部総会と合同で開催している。本年度は平成21年9月26日（土）16時から甲府市「ニュー芙蓉」で、15人の参加のもとで開催された。

来賓として、東京理科大学幡野純理事、理窓会ルネサンス推進特別委員田村應和先生、東京理科大学維持会森野義男会長、地理的に近い諏訪東京理科大学片岡寛学長の4人をお迎えした。幡野理事からは、大学入試志願者数の変化を始め大学の最近の様

子や教育・研究環境の整備状況をお聞きした。また、3キャンパスのそれぞれの特長を説明され、学生の活躍と大学の発展の様子を知ることができた。田村先生からは、理窓会ルネサンス5か年計画最終年度を迎えて、理窓会運営の改革、全国各支部の活性化、各年度の活動方針と成果の詳しい説明を受けた。また、「坊っちゃん科学賞」の制定など興味深い話も聞くことができた。森野会長からは、維持会についての説明と、創立125周年記念事業募金の状況についてお話があった。片岡学長からは、諏訪東京理科大学について入試状況等のお話があり、少子化にもかかわらず、志願者数が上向きであり、多くの高校生が希望しているとの説明があった。中・高校生への学習支援や地域産業ゼミナールの開催など、地域との連携の様子も知ることができた。

今回は若手の参加があったので、これを機会に、理窓会・教育会両支部の課題である若い人の参加を促すため、県内で活躍の同窓教員の講演等を企画して、若い先生方の支部総会への参加を呼びかけていきたい。

## 静岡支部総会報告

支部長 (55 修薬)樋口 和男

当支部は、平成5年度に発足し、会員の理解と協力により、順調な歩みを続けている。現会員数は38名(義務関係15名、高校関係23名)で活動している。

総会は、1月23日(土)に17名の参加を得て、静岡市にて開催された。初参加の会員もあり、同窓の絆を強く結ぶひとときとなった。

＝当日の議事等の報告＝

○母校及び理窓会の現状と展望についての講話、資料配布

○本会支部長の交替

現支部長(在任9年)の提案により、出席者の総意のもとに、県立沼津西高校の樋口和男校長が三代目として選出された。併せて、事務局を新たに設置することにした。

○会員からの報告、情報交換

- ・初参加の会員からの紹介
- ・本会の歴史と経過
- ・理窓会との活動への両輪協働
- ・理大の先輩・恩師の思い出
- ・「富士山の日」制定への教育意義及び学校対応
- ・伊東及び静岡地震の被害及び対応
- ・私学経営の現状と支援
- ・新校舎完成による教育活性化
- ・会員加入への声かけ
- ・定年後の生き甲斐
- ・健康についての実践と心得 etc.

22年度からは、新支部長の下に、新しい「チェンジ」の気運を醸し出し、一層会を発展させていきたい。

## 宮崎支部総会報告

支部長 (450B)大峯 凱男

平成21年度の宮崎支部総会は、平成21年9月19日(土)、昨年に続き「ひまわり荘」(宮崎市)で開催されました(11:40～15:00)。

本部からは、常務理事の澤芳昭氏、維持会会長の森野義男氏、ルネサンス推進特別委員の山田義幸氏、計3名の皆様が多用の中激励に駆けつけてくださいました。本県からは、昨年に続き参加の呼び掛けに快く応じていただいた「こうよう会」宮崎支部の役員5人を含め17人が出席しました。

支部長の挨拶の後、本部からは、大学会館、金町キャンパス構想、入試状況等について、具体的な説明があり、参加者は大学の発展にびっくりしていました。125周年記念事業募金事業の現況報告と募金依頼、理窓会五カ年計画、ホームカミングデー、卒業生の把握状況についても、限られた時間の中で丁寧に説明して戴きました。

支部の活性化の一環として、昨年に続き支部会員による研究発表を実施しました。今回は、宮崎支部HP構築の進捗状況を発表し、参加者から大きな期待を寄せられました。今年度中の立ち上げに準備を進めて

いるところです。また、会員の支部総会への参加拡大を図るために、メールを使ったり、理科大学出身者が何人も勤めている会社に直接出向いたりして、理窓会の現況をお知らせし総会への参加を呼び掛けたいと思っているところです。

**坊っちゃん科学賞  
(高校生部門)について**  
東京都立富士森高等学校長 富岡康夫(48K)

東京理科大学理窓会・東京理科大学の主催・共催による標記のコンテストについての実施報告と関係者に今後の応募のお願いをいたします。

コンテストは高校生を対象に物理、化学、生物、地学等、数学、情報、その他の分野に関して高等学校における課題研究または自由研究、その他の研究をまとめた科学研究論文コンテストです。今回第一回として全国の高校生に呼びかけをしました。締切りを8月末としました。全国からの応募があり、応募の中から23編を事前審査し、優秀賞の4編を選び、11月1日のホームカミングデーで発表会を開催しました。

審査委員長は秋山仁先生です。発表会の内容はいずれも素晴らしものであり、創意工夫に富んだものでした。最優秀賞は、千葉県立東葛飾高等学校牛根奈々さんの「Spirostomum の生態」が選ばれました。秋山先生から「原稿を見ず、自分の言葉として発表し、質問にも的確に答えていた」との講評がありました。

表彰式では、最優秀賞の牛根さんに本学学長の竹内伸先生から賞状、盾、記念品(パソコン)が授与されました。優秀賞の3団体には、秋山仁先生から賞状、盾、記念品贈られ、入賞した19団体には児島理窓会幹事長から賞状と記念品が贈られました。

最後に秋山先生から、テーマ選択の重要性、インスピレーションの大切さ、セレンディピティの大切さや研究の継続は素晴らしいこと、私は東京理科大学付属高校の生徒の発表を聞いているような感覚に陥ったとの名言も出ました。高校生同士の交流も

あり、大いに盛り上がった発表会でした。最後には近代科学資料館を前に参加者全員が秋山先生と記念写真を撮りました。関係者の皆様、第一回です。まだまだ全国に知られていません。今後発展させるためにぜひ身近な高校生を発掘し、参加できるようご支援をお願い申し上げます。

**新規採用教員・管理職選考合格者・退職者激励会について**  
(49 専 S) 廣瀬和昭

平成22年3月6日理窓教育会東京支部主催の新規採用教員・管理職選考合格者・退職者激励会が理窓会館3階第1会議室にて開催された。

今年度4月から就任された藤嶋昭東京理科大学学長をはじめとしてご来賓3名、現職・OB教員、今年度の教員退職者、管理職試験に合格された会員等の出席者70数名が出席して盛大に行われた。また、新規採用教員予定者は、124名の合格者全員を招待し、そのうち37名が出席した。

松原秀成理事の司会で会は始まった。會田良三理事の開会の挨拶に続き、来賓としてご出席の塚本桓世理事長代理佐藤毅教授のご挨拶があった。北海道大学の大学院時代の思い出話として、クラーク先生はアメリカから来られてたった半年しか大学にいなかったが、学生からの慕われ方は絶大であった。学生の信頼を勝ち取るには真剣に立ち向かう情熱であると話された。藤嶋昭学長からは良い本をいっぱい読みなさいと話された。教職課程指導室の坂本功先生の合格状況の説明の後、合格者を代表して、東京都公立学校数学に合格している新井真樹君が、感謝の意と教職活動をしていくための決意表明を力強く宣誓されました。

次に教育管理職選考試験合格者を武内愛樹町田市立堺中学校長より紹介。管理職選考の選考方法が以前と異なってきたので、変化に対応する対策が必要だとの話があった。退職者を代表して、富岡康夫東京都立富士森高等学校長が教員生活や理化学協会

長としての活躍を振り返って挨拶された。最後に小久保正己理事が閉会の言葉を述べた。

引き続き、榎本成己理事の司会で懇親会に入りました。ご来賓としてご出席の教職支援センター神楽坂地区センター長眞田克典教授らから励ましのご挨拶があった。元気な教師の卵の諸君からは自己紹介と教師としての熱い抱負が述べられ、和やかな雰囲気の下、同窓としての先輩・後輩の絆を深めつつ散会した。

### 教員採用試験対策講座・合宿コースの指導について (41S)坂本功

東京理科大学生涯学習センターの公開講座「教員採用試験対策講座・合宿コース」で18名の理窓教育会の会員が指導を行いました。この講座は、野田セミナーハウスにて3月15.16.17日2泊3日で行われ、74名の教職を目指す学生が参加しました。

3日間の午前は「教育時事」「学習指導」「生徒指導」の講義の後、その教育課題に関する1200字程度の教育論作文を書かせ、その論作文をその日の内に添削・個人指導を行いました。午後は「集団討論・場面指導」「個人面接」「模擬授業」の練習を行いました。夜は学生と先輩である理窓教育会の先生との質問・討論コーナーが設けられ和気藹々とした懇談になりました。

この合宿により、学生は実力を付けると共に教職に就こうというモチベーションを高め、7・8月の採用試験に向かうものと思えます。(下記は合宿の集合写真)

### 入学前学習支援事業への協力 入試センター入試課 (44S) 澁谷重雄

この事業は理窓教育会の協力を得て実施し4年目となります。主に推薦入学生を対象に、数学、物理、化学、生物、国語、英語の各教科で課題3回分を受講生に与え、問題を解かせ提出させています。理窓教育会では、数学、物理、化学のハイレベルコース答案の添削指導をしています。

入試センター入試課が業務の担当です。昨年度、理窓教育会の協力を得て添削状況をまとめたところ、1~3回の受講生の答案提出者が数学 318→293→254、物理 236→212→182、化学 184→161→140のように減っており気がかりです。不提出については、理窓教育会と大学が連携をとりあい受講生の指導にあたらなければと考えています。

理窓教育会の先生方には、受講生一人一人の答案をていねいに添削していただいております。それ故、受講生は返却された答案を見て、間違えた箇所は再度必ず解き直し、入学までに基礎学力を十分身に付けてほしいです。理科大新入生の学力向上を切に願う理窓教育会の先生方の熱い思いを十分に受け止め、この事業を推進していくつもりです。

なお、1月28日に今年度の入学前学習支援添削者打合せ会が開催され、理窓教育会から21名の先生方が参加されました。大学から委員長挨拶に続いて、理窓教育会担当挨拶があり、添削に関する連絡事項と打合わせなどが行われました。



## 同窓の活躍

## 授業で勝負できるプロ教師たれ！

東京都立杉並工業高等学校 校長 田神 仁 (H5 専 S)

正月にTVで「イロモネア」という番組を見た。芸人が、場内から無作為に選ばれた5人の観客を1分以内に笑わせるというものである。決勝戦で5人全員が笑えば、賞金として100万円がもらえる。多くの芸人が、あと一人が笑えば100万円というところで惜しくも敗退していった。私は「敗退したどの芸人も絶対に観客のせいになかった」ということがすばらしいと思った。さすがはプロの芸人である。教師もプロを目指すなら生徒のせいにはいけない。たとえ基礎基本が不十分な生徒であっても、学習意欲の低めな生徒であっても、プロ教師ならすばらしい授業を実践するに違いない。

生徒のせいにはしないということは、自ら責任をもって「分かる授業」を実現することである。そのためには、授業研究、すなわち指導法や教材等の工夫を怠らなくてはならない。自らの授業を改善するために不可欠なのは、上司や同僚、他校の教員等からのアドバイスである。自分独りで研究しても、ともすれば独善的なものになりがちである。アドバイスをもらうためには、自らの授業を見せたり、他人の授業を見せてもらったりすることが不可欠である。もし、授業を見せたり見せてもらったりすることが億劫になったら、プロ教師の看板を降ろさなくてはならない。

授業に関する修行の場として、各教科の研究会や教育委員会主催の研修会、大学の教育研究会などがある。それらの研究会に自ら参加して、多くの先生方からアドバイスを受けることによって、プロ教師としての専門性が磨き上げられる。大学を出ただけで一人前の教師になったつもりでいるなど、もっての外である。

かつて、東京理科大学出身の教員は「一匹狼」と言われた。これは、ほめ言葉ではない。校長の意をまったく解せず、自分勝手なことばかり行っている理数系教員を揶揄した言葉である。現在の学校は組織で動いている。どんなに力があっても、学校組織とかみ合わない教員は要らない。どの学校も、校長の意を体して組織を動かすことができ、授業で勝負できるプロ教師を待っている。

将来、校長や指導主事を目指すのか、一生を通して授業で勝負するのかは、人それぞれである。いずれにしても「東京理科大学出身の教員や管理職は研修意欲が高く、力がある」とよい評判を聞けるよう、お互い日々の研鑽を重ねたいものである。私が会長を仰せつかっている東京都高等学校数学教育研究会（都数研）や副会長を拝命している日本数学教育学会（日数教）、東京理科大学数学教育研究会（理数研）などが、プロ教師たちの自分磨きの場となれば幸い

## 事務局より

## 総務理事 (41S) 坂本功

## 1 支部(支部長)との連絡窓口

入試センター 澁谷 重雄  
在室 (火) 10:00~16:00  
TEL 03-5228-8092  
FAX 03-5228-8093  
メール shibuya\_shigeo@admin.tus.ac.jp

## 2. 一般の連絡窓口

教職課程指導室 坂本 功 (総務理事)  
TEL 03-3260-4271 内線 2780  
FAX 03-3260-1776  
メール isoskmt@rs.kagu.tus.ac.jp

## 平成22年度 教員採用試験合格者数

平成22年3月12日 現在

校種 教科	公立					私立					公私 合計	
	小学	中学校・高等学校			特別支援	合計	中学・高等学校					合計
		数学	理科	他			数学	物理	化学	生物		
山形		1				1						1
福島		1	1			2						2
茨城		2				2	1				1	3
埼玉		11	4			15	2				2	17
千葉		20	1			21	1	1			2	23
東京		34	7		1	42	28	5	1		34	76
神奈川		6	3			9	2	1			3	12
横浜		1				1	1				1	2
川崎		1				1	1				1	2
青森		1				1						1
京都		1				1						1
宮城		1				1						1
愛知		1	1			2						2
長野				1		1						1
北海道		2				2	1				1	3
栃木		1				1	1				1	2
大阪		3	1			4						4
兵庫								1			1	1
群馬		2				2						2
福岡							1				1	1
合計		89	18	1	1	109	39	8	1	0	48	157

22年度	0	89	18	1	1	109	39	8	1	0	48	157
21年度	0	48	21	1	3	73	23	4	1	0	28	101
20年度	4	49	15		3	71	14	2	2		18	89
19年度		28	6			34	24	4	4	3	35	69
18年度		34	7	1		42	16	2	2		20	62

昨年度までのデータは最終値、今年度のは現時点値である。